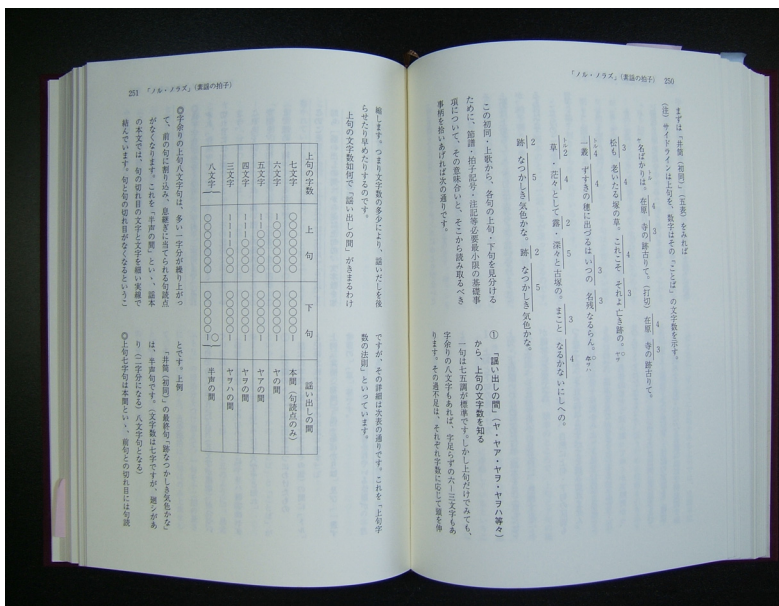
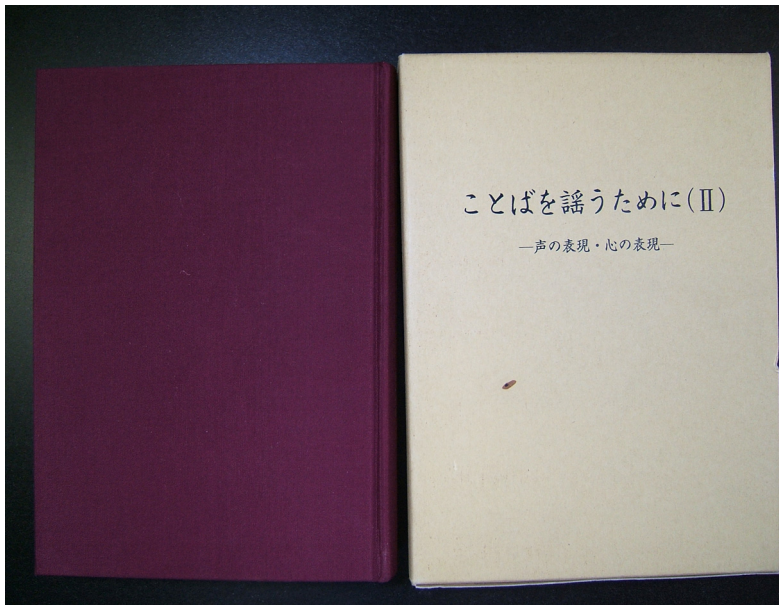


芝切清 『ことばを謡うために(Ⅱ) 一声の表現・心の表現』

素人の謡曲家の著作。「ノル・ノラズ(素謡の拍子)」という章に全体の五分の一の分量を費やす。素謡で平ノリを正しく謡うため、「謡本上での、上句と下句の見わけ方」に焦点を当てているのが独自で興味深い。写真下は「上句と下句の見わけ方」の節の一部分。井筒初同上句を見わけ、それを分節にわけ作業から入り、謡い出しの間のみならず、分離のトリ、ヤトリ、上の句形のトリ、オクリ、上下一連句等を説明。地拍子の次元を超えた、句を単位とするリズム論になっている点が優れている。



標題 内題――

標題紙…ことばを謡うために(Ⅱ) 一声の表現・心の表現――

奥附…ことばを謡うために(Ⅱ) (声の表現・心の表現)

その他…ことばを謡うために(Ⅱ) (声の表現・心の表現) (目次)、ことばを謡うために(Ⅱ) 一声の表現・心の表現――(背)

著者 奥附…芝切清

その他の場所…芝切清(あとがき・背)

出版 版次…第一版

出版地…神戸

出版社…交友印刷株式会社

出版年…平成8(1996)

その他の場所…はじめに、あとがき 平成8(1996)

形態 冊数…一冊十函 頁数…四七四頁

寸法…21×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考